



令和2年度

# 水稻の生育概況



埼玉県マスコット  
「コバトン」

(令和2年7月1日現在)  
埼玉県農業技術研究センター

## 要 約

- ◎気象概況：6月の平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年の約2倍、日照時間も平年より多かった。
- ◎生育状況：草丈、茎数、葉位とも平年並みの生育である。
- ◎今後取るべき技術対策
  - ・水 管 理：早植栽培で中干し未実施のほ場はただちに実施。普通期栽培は移植後30～35日を目安に中干しを実施。
  - ・穂 肥：生育診断等に基づき、適切な穂肥を検討する。
  - ・病害虫防除：葉いもち病、フタオビコヤガ（イネアオムシ）、斑点米カメムシ類に注意。

## 1 気象の概況

6月の気温は第5半旬を除いて平年値を上回り、6月平均では平年より2.0℃高かった。降水量は第1半旬を除いてまとまった降雨があり、月合計では平年の178%となった。日照時間は第3、5半旬を除いて平年より多く、月合計では平年の118%となった。

## 2 生育の概況

### (1) センター内生育相

#### ア 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

草丈はほぼ平年並みで推移している。高温により葉位の進展が平年より早く、最高分けつ期は6月20日頃と平年（6月26日）より早かった。茎数は、高温多照の影響により移植後50日頃までは平年より多く推移し、過繁茂気味の生育となった。その後は、弱小茎の夭折が平年より早く進み、移植後60日の茎数は平年よりやや少なくなった。

6月30日の幼穂長が2.2mmと平年（1.0mm）より長かった。また、気象庁の確率予測資料での今後1か月の気温も平年より1.8℃程度高い予想である。そのため出穂期は平年より1週間程度早い7月18日前後と予想される。

#### イ 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

草丈はほぼ平年並みで推移している。高温により葉位の進展が平年より早く、茎数は平年より多く推移している。多照により、平年の最高分けつ期頃にあたる移植後40日時点での茎数が平年を上回っており、過繁茂気味の生育となっている。

ウ 普通期栽培（6月25日植 彩のきずな）

風乾重がやや軽いため充実度がやや低い苗となったが、活着は良好である。

（2）県内全般

早期栽培では、天候に恵まれ生育は良好で概ね平年並みである。

早植栽培の生育も、天候に恵まれ良好で概ね平年並みである。

普通期栽培の田植作業は、概ね平年並の6月末に終了した。

3 今後の生育予測

（1）気象予測

気象庁が7月2日に発表した1か月予報では、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性がある見込みである。

平均気温は、高い確率が70%、並が20%、降水量は、並が40%、多い確率が30%、日照時間は、多いが40%、並が30%である。

また、6月24日発表の3か月予報では、8月は高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多く、気温は高い確率が50%。9月の天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多く、気温は高い確率が50%である。

（2）生育予測

ア 早期栽培

7月2日現在の関東甲信地方の2週間予報では平均気温は平年に比べ高い～かなり高いとなっていることから、生育は早まるものと予想される。

イ 早植栽培

1か月予報では平均気温は高く、降水量、日照時間とも平年並みと予報されていることから、生育は早まるものと予想される。

ウ 普通期栽培

気温は7月後半以降平年と同様に晴れの日が多いと予報されていることから、平年並みに推移するものと予想される。

4 今後取るべき技術対策

（1）早期、早植栽培

ア 水管理

早期栽培では出穂7日前～出穂7日後までは深水管理とする。

早植栽培で中干しを実施していないほ場では直ちに実施し、無効茎の発生を抑える。

中干し後～幼穂形成期までは間断かん水を励行し、無効茎の抑制と根の活力維持に努める。

イ 穂肥

適期を逃さぬよう幼穂長、葉色等の診断結果に基づき穂肥を施用する。

基肥で緩効性肥料を施用している場合でも、穂肥時期に葉色を見て穂肥を検討する。

彩のかがやきでは、適期（出穂前22～23日頃 幼穂長1～2mm）に葉色が4以下の場合は窒素成分3kg/10aを限度に穂肥を施用する。

葉色が4以上の場合は低下するまで施用時期を遅らせ、窒素成分2kg/10a程度に減ずる。

また、出穂前10日頃に葉色を確認し、葉色が4以下の場合は2kg/10a程度を追加施用する。

#### ウ 病害虫防除

6月29日発表の埼玉県病害虫防除所の7月予報ではいもち病(葉いもち)の発生量は「やや多」、縞葉枯病の発生量は「やや多」である。

また、斑点米カメムシ類の発生量も「やや多」であり、本年は高温が予想されているため適期防除（出穂期から乳熟期）の散布を心がける。

7月1日発表のフタオビコヤガ（イネアオムシ）発育予測では、第2世代成虫最盛日は7月12日と予測され、平年と比較して3日早くなっている。第4世代幼虫の発生までに防除をしないと被害の拡大が懸念されるので、第3世代幼虫のうち（7月）に防除する。

同じく7月1日発表のイネツトムシ(イチモンジセセリ幼虫)発生予測では、第2世代幼虫の孵化最盛日は7月25日と予想され、平年と比較して4日早い。孵化最盛日から4～7日の間が防除適期である。

詳しくは埼玉県病害虫防除所ホームページを参照のこと。(http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0916/index.html)

### (2) 普通期栽培

#### ア 水管理

移植後30～35日を目安に、有効茎を確保したら速やかに小ひびが入る程度に中干しを実施する。

#### イ 穂肥

彩のかがやきでは、適期（出穂前25日頃 幼穂長0.5～1mm）に葉色が4以下の場合は窒素成分3kg/10aを限度に穂肥を施用する。

葉色が4以上の場合は低下するまで施用時期を遅らせ、窒素成分2kg/10a程度に減ずる。

また、出穂前10日頃に葉色を確認し、葉色が4以下の場合は2kg/10a程度を追加施用する。

#### ウ 病害虫防除

7月予報ではいもち病(葉いもち)は「やや多」、フタオビコヤガ及びイネツトムシの発生時期は「やや早」となっている。

早期、早植栽培同様、早めの防除を心掛ける。

## 工 雑草防除

雑草が多発した場合は、草種・葉齢に合わせた除草剤（中期、後期剤）の適期散布を行う。用水量が少なく、湛水が維持できない場合は、中干し時期に合わせて落水茎葉処理タイプの除草剤を使用する。

解析・考察に用いた具体的数字

1 気象表（6月、熊谷气象台日別測定値から集計）

半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1	23.6	20.6	28.5	26.1	19.3	16.0	1.5	17.1	30.8	28.5
2	24.9	21.0	31.3	26.2	19.4	16.7	74.5	20.1	45.5	25.1
3	24.4	21.4	30.0	26.3	20.8	17.5	51.0	25.7	17.7	21.6
4	23.3	21.9	28.2	26.4	18.7	18.2	29.0	29.2	35.6	18.8
5	21.2	22.3	24.7	26.6	18.5	18.9	30.5	28.8	2.3	16.2
6	24.4	22.9	28.3	27.1	21.3	19.4	72.5	27.8	16.6	16.2
平均	23.7	21.7	28.5	26.4	19.7	17.8	合計 259.0	145.4	148.5	125.5

注) 半旬数値は熊谷地方气象台日別測定値から集計。ただし、月平均、合計値は气象台値

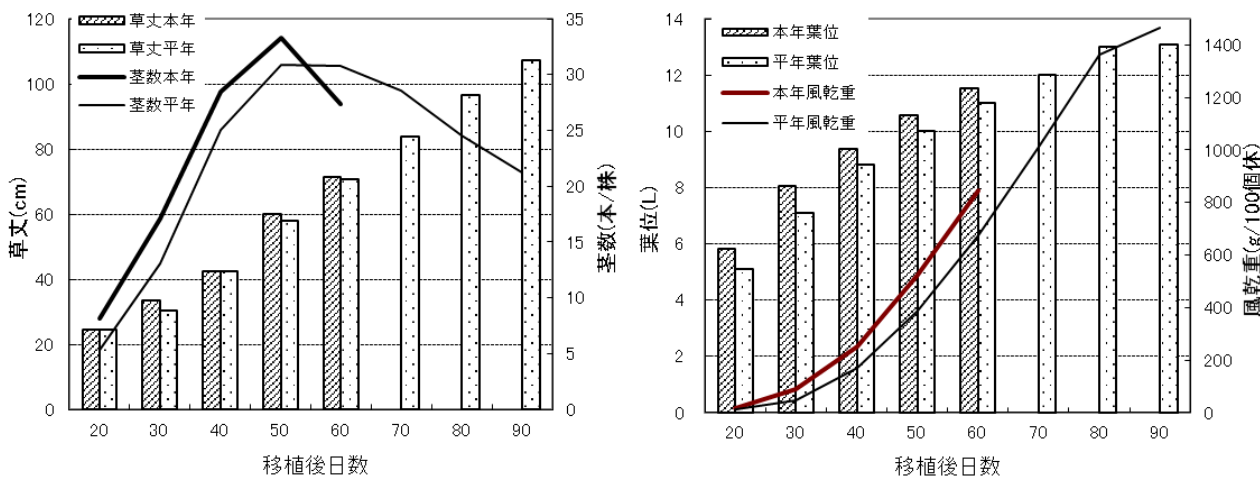
2 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

(1) 本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
40	42.5	42.6	100	28.5	25.0	114	9.4	8.8	0.6	250.1	170.5	147
50	60.1	58.1	103	33.3	30.9	108	10.6	10.0	0.6	524.4	386.5	136
60	71.4	70.8	101	27.4	30.8	89	11.5	11.0	0.5	845.0	676.3	125

注) 平年値は平成11年～令和元年の平均(H22を除く)。 平年比は%

(2) 生育経過



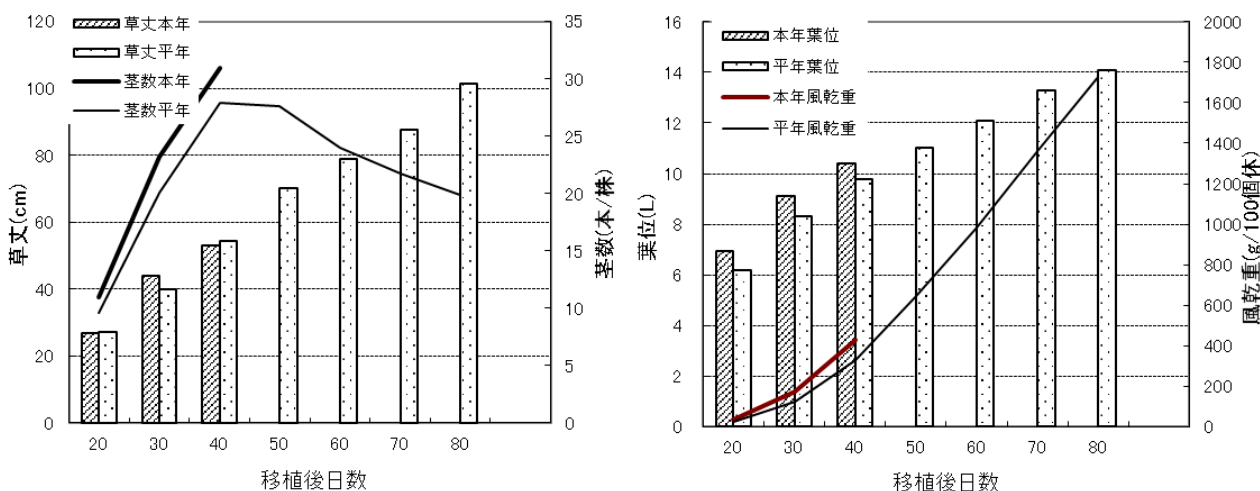
### 3 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

#### （1）本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
20	26.8	27.3	98	11.0	9.6	115	6.9	6.2	0.7	33.7	25.6	132
30	44.0	40.1	110	23.2	20.1	115	9.1	8.3	0.8	172.6	122.3	141
40	53.1	54.4	98	31.0	27.9	111	10.4	9.8	0.6	426.3	326.5	131

注) 平年値は平成11年～令和元年の平均(H22を除く)。 平年比は%

#### （2）生育経過

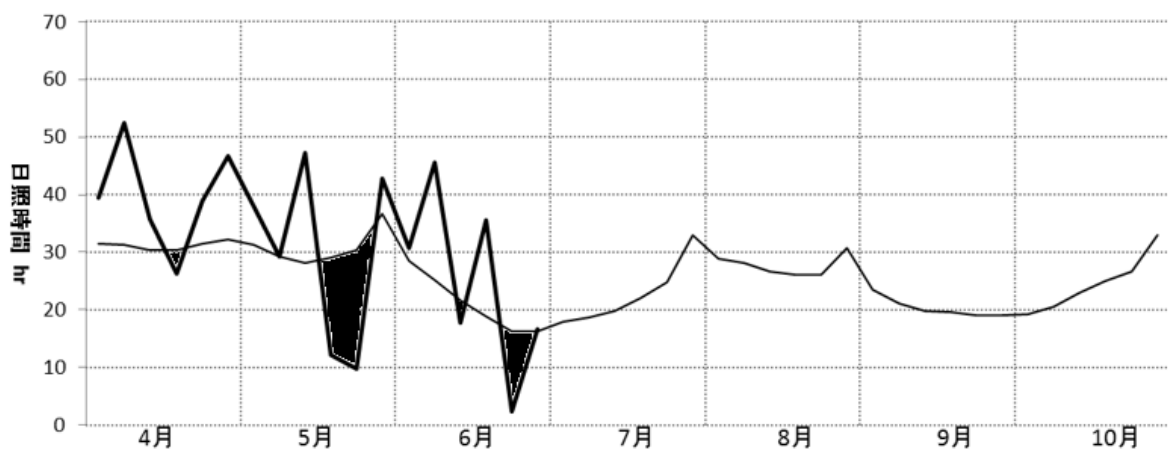
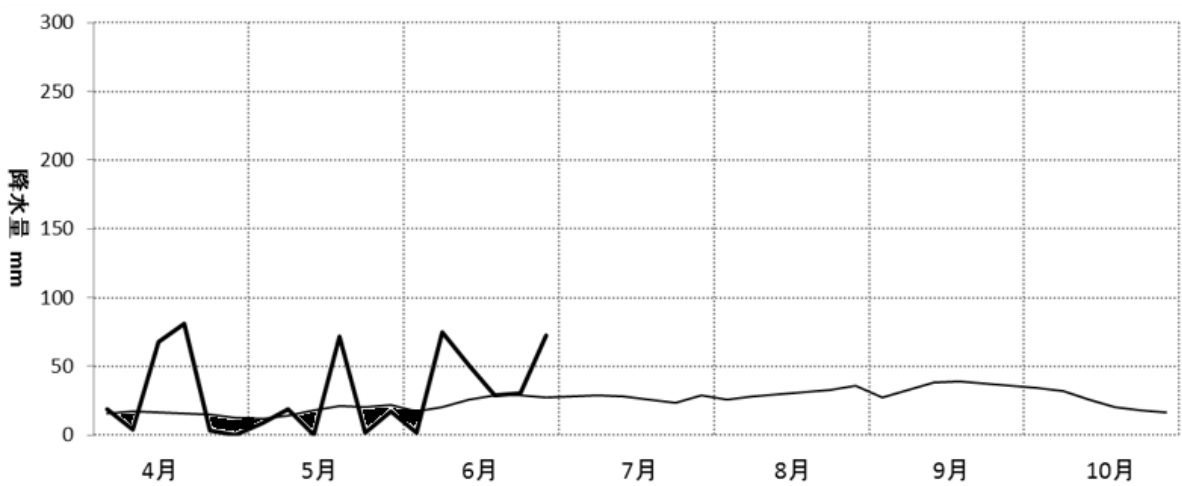
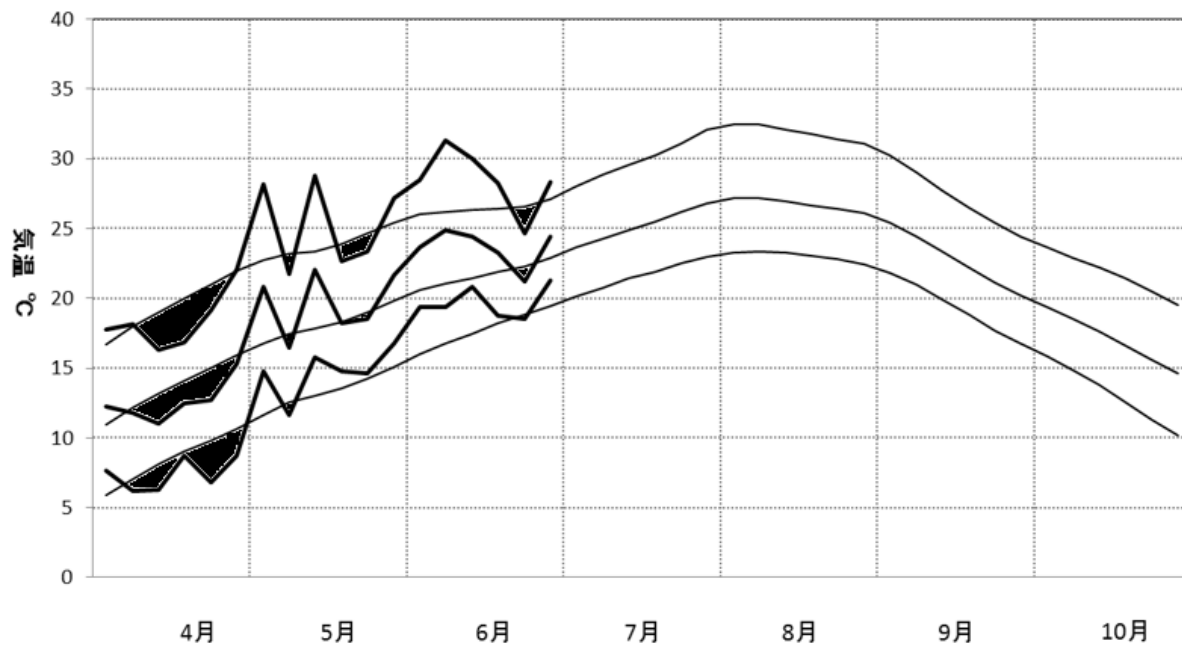


### 4 普通期栽培（6月25日植 彩のきずな）

#### （1）苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
15.1	16.6	91	3.5	3.6	-0.1	2.30	3.00	77	1.52	1.81	-0.29

注) 平年値は平成27年～令和元年の平均。 平年比は%



## 令和2年夏作期間気象図

(熊谷気象台日別測定値から作成)